

障害福祉サービス提供事業所等調査

和歌山県全域集計結果(通所系)

10. 保育所等訪問支援

県全圏域集計

通所系

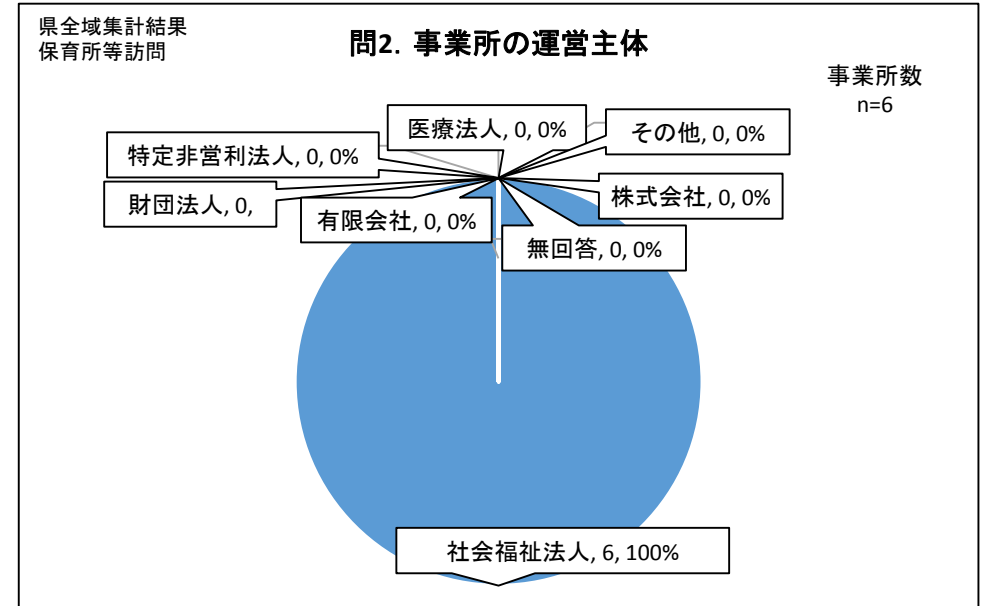
配付数	(有効)回収数	(有効)回収率
9	6	66.7%

10. 保育所等訪問支援

問2	運営主体	「社会福祉法人」が100%。
問3	所在地	「那賀」が33%、「和歌山」「日高」「西牟婁」「東牟婁」が各17%。その他の圏域は無し。
問4	契約者数	「21～25人」が33.3%、「1～5人」「31～35人」が各16.7%、「0人」が33.3%。
問5	職員体制	「1～5人」が67%、「6～10人」が33%。
問6	サービス内容	託児所や保育所への訪問・訪問による助言のみでその他のサービスは無し。
問7	医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否	「可能」が50%、「不可能」が50%。
問8	サービス提供時間帯	日中のみ。
問9	提供可能な医療的ケア	「カテーテル、ポート」は無いがその他のケアは50%可能である。
問10	医療的ケアを受けている年齢層	該当者無し。
問11	障害者手帳と等級	該当者無し。
問12	医療的ケアが必要な方の障害支援区分	非該当
問13	提供している医療的ケア	該当者無し。
問14	医療的ケアが必要な方の利用についての課題	「急変時の対応」、「保護者のニーズに応じられない」、「提供できるケアの内容が限定されている」が各50%。
問15	医療的ケアが必要な方が利用できない理由	「事業所として対象としていない」と「保護者のニーズに応えられない」が66.7%。「障害者の身体介護の経験が無い」「リスクが高い」「看護師確保が困難」「看護の経験がない」がそれぞれ33.3%。
問16-1	災害対策マニュアルの定期的な見直し	「行っている」83%、「これから作成する」が17%。「行っていない」ところは無かった。
問16-2	被災時用の備蓄品	「食料」が一番多く、「薬」、「衛生材料」、「酸素」、「非常用発電機」が備蓄されている。
問17	医療的ケアが必要な障害児者が安心して生活する為の改善点	「圏域内に医療福祉を備えた施設の設備」が83.3%、「看護師確保の報酬基準の改善」、「介護職員の医療的ケア研修時間の緩和」、「緊急時の対応可能な医療機関の確保」が66.7%。
	傾向と評価	運営主体は、社会福祉法人のみ。医療的ケアのサービス提供の可否は、可能と不可能が半々。提供可能な医療的ケアは中心静脈栄養以外は可能。医療的ケアの必要な方の利用についての課題は、急変時の受け入れ体制、保護者のニーズに応えられない等である。災害対策については83%が行っている。安心して地域で生活するための改善点については、「医療・福祉を備えた施設の整備」が83%と高値である。

問2. 事業所の運営主体

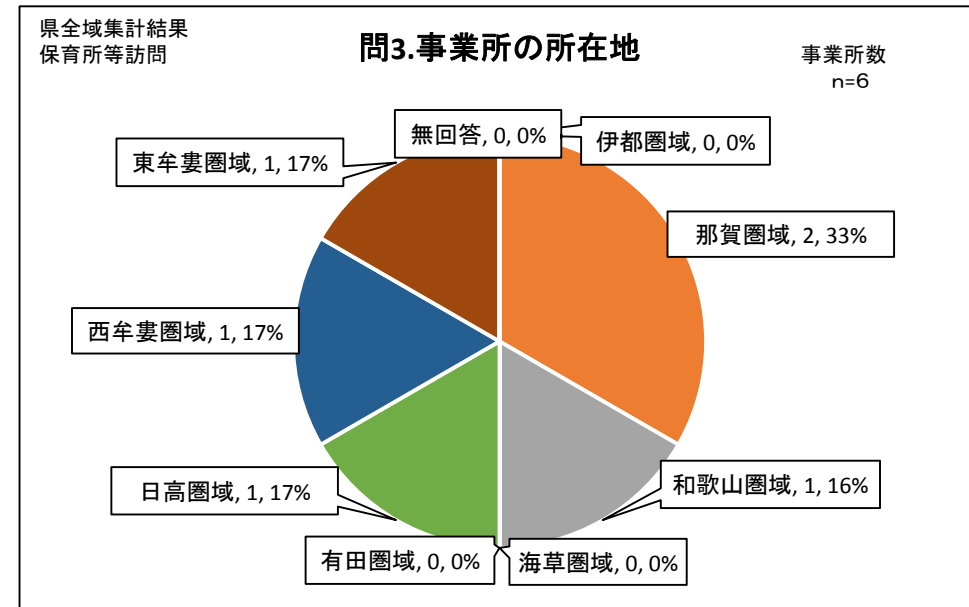
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
社会福祉法人	0	2	1	0	0	1	1	1	6	100.0%
財団法人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
特定非営利法人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
有限会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
医療法人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	0	2	1	0	0	1	1	1	6	100.0%



問2	運営主体	「社会福祉法人」が100%。
----	------	----------------

問3. 事業所所在地

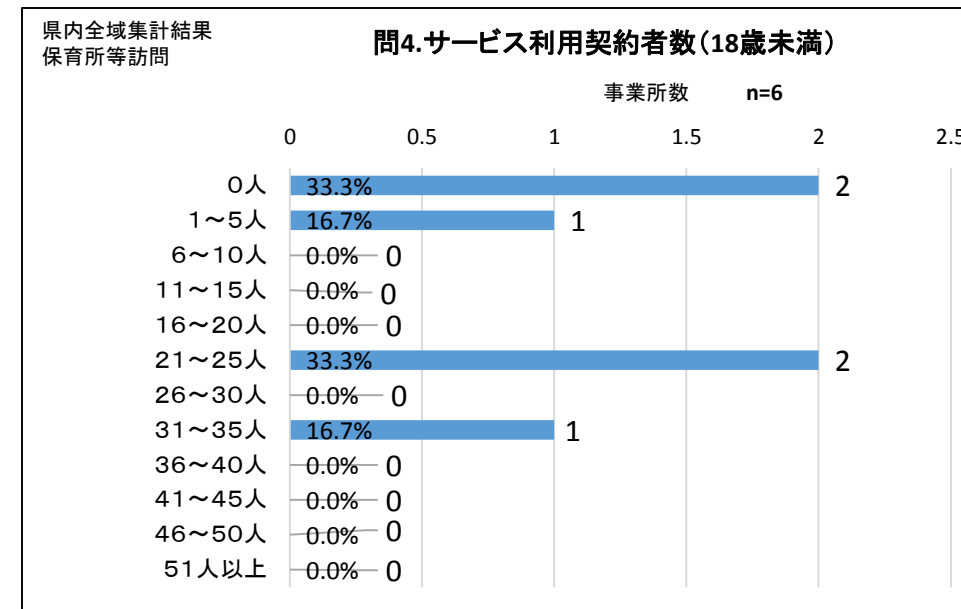
所在地	事業所数	%
伊都圏域	0	0.0%
那賀圏域	2	33.3%
和歌山圏域	1	16.7%
海草圏域	0	0.0%
有田圏域	0	0.0%
日高圏域	1	16.7%
西牟婁圏域	1	16.7%
東牟婁圏域	1	16.7%
無回答	0	0.0%
事業所合計	6	100.0%



問3	所在地	「那賀」が33%、「和歌山」「日高」「西牟婁」「東牟婁」が各17%。その他の圏域は無し。
----	-----	--

問4. サービスを利用している契約者数(18歳未満)

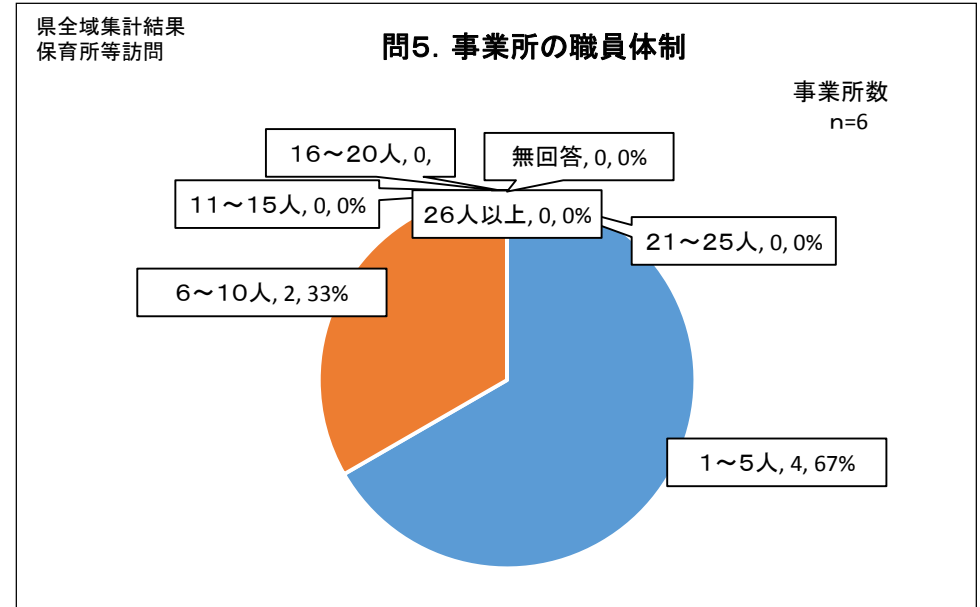
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
0人	0	0	0	0	0	1	0	1	2	33.3%
1～5人	0	1	0	0	0	0	0	0	1	16.7%
6～10人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
11～15人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
16～20人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
21～25人	0	0	1	0	0	0	1	0	2	33.3%
26～30人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
31～35人	0	1	0	0	0	0	0	0	1	16.7%
36～40人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
41～45人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
46～50人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
51人以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	0	2	1	0	0	1	1	1	6	



問4	契約者数	「21～25人」が33.3%、「1～5人」「31～35人」が各16.7%、「0人」が33.3%。
----	------	--

問5. 事業所の職員体制

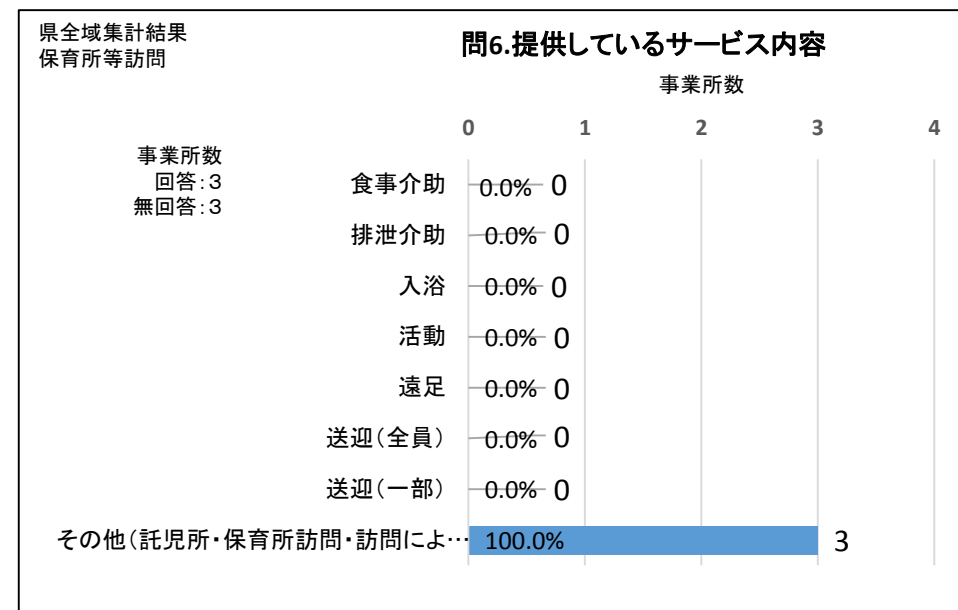
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1～5人	0	1	1	0	0	1	0	1	4	66.7%
6～10人	0	1	0	0	0	0	1	0	2	33.3%
11～15人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
16～20人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
21～25人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
26人以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	0	2	1	0	0	1	1	1	6	100.0%



問5	職員体制	「1～5人」が67%、「6～10人」が33%。
----	------	-------------------------

問6. 提供しているサービス内容

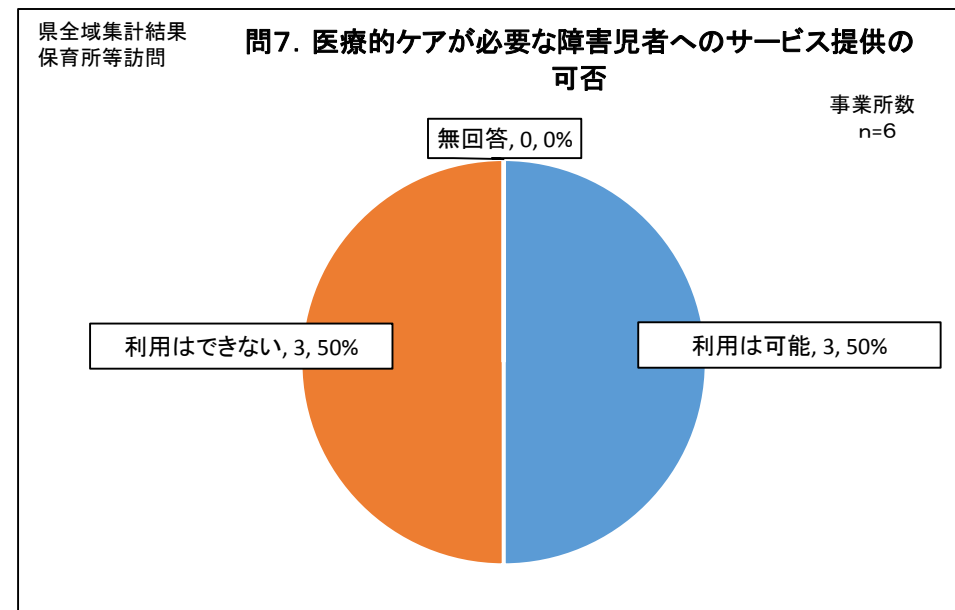
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
食事介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
排泄介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
遠足	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
送迎(全員)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
送迎(一部)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他(託児所・保育所 訪問・訪問による助言)	0	1	1	0	0	0	0	1	3	100.0%
回答事業所数	0	1	1	0	0	0	0	1	3	
無回答事業所数	0	1	0	0	0	1	1	0	3	
事業所数合計	0	2	1	0	0	1	1	1	6	



問6	サービス内容	託児所や保育所への訪問・訪問による助言のみでその他のサービスは無い。
----	--------	------------------------------------

問7. 医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否

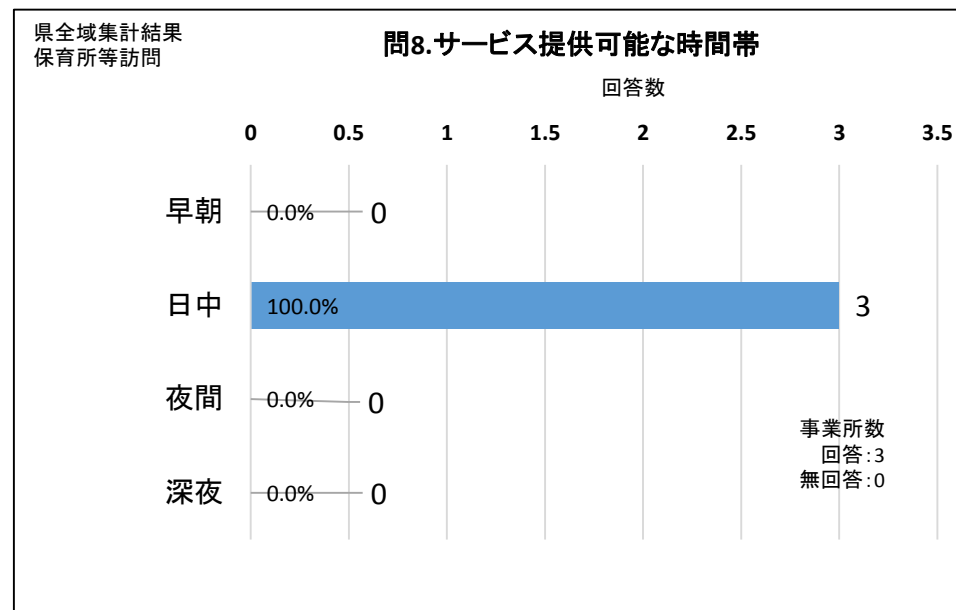
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域合計	%
利用は可能	0	1	1	0	0	0	1	0	3	50.0%
利用はできない	0	1	0	0	0	1	0	1	3	50.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	0	2	1	0	0	1	1	1	6	100.0%



問7	医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否	「可能」が50%、「不可能」が50%。
----	--------------------------	---------------------

問8. サービス提供可能な時間帯(複数回答)

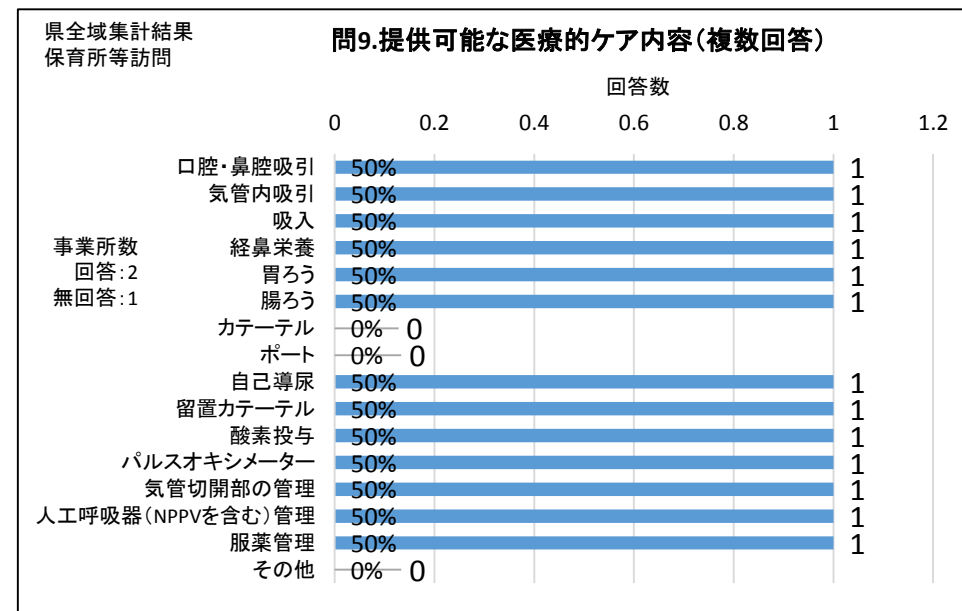
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
早朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
日中	0	1	1	0	0	0	1	0	3	100.0%
夜間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
深夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
回答事業所数	0	1	1	0	0	0	1	0	3	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	0	1	1	0	0	0	1	0	3	



問8	サービス提供時間帯	日中のみ。
----	-----------	-------

問9. 提供可能な医療的ケアの内容(複数回答)

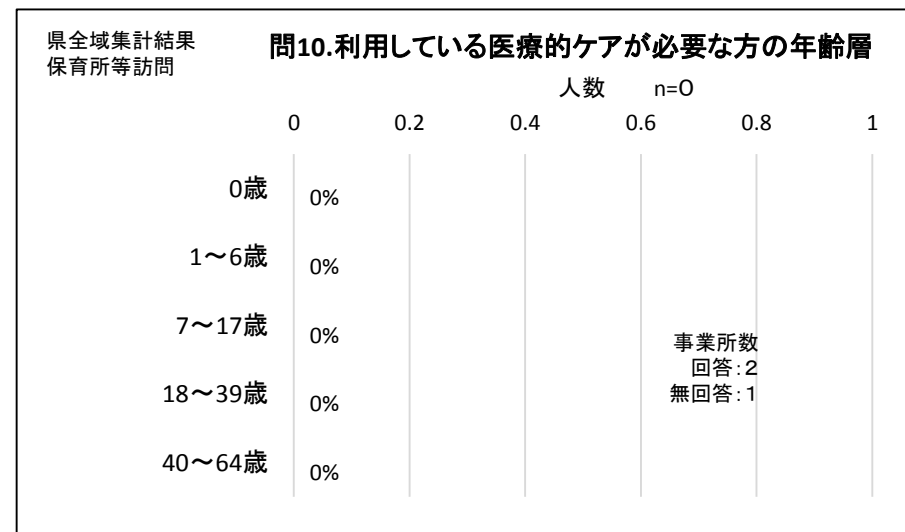
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
吸引	口腔・鼻腔吸引	0	1	0	0	0	0	0	0	1	50%
	気管内吸引	0	1	0	0	0	0	0	0	1	50%
吸入	吸入	0	1	0	0	0	0	0	0	1	50%
経管栄養	経鼻栄養	0	1	0	0	0	0	0	0	1	50%
	胃ろう	0	1	0	0	0	0	0	0	1	50%
	腸ろう	0	1	0	0	0	0	0	0	1	50%
中心静脈 栄養	カテーテル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	ポート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
導尿	自己導尿	0	1	0	0	0	0	0	0	1	50%
	留置カテーテル	0	1	0	0	0	0	0	0	1	50%
	酸素投与	0	1	0	0	0	0	0	0	1	50%
	パルスオキシメーター	0	1	0	0	0	0	0	0	1	50%
	気管切開部の管理	0	1	0	0	0	0	0	0	1	50%
	人工呼吸器(NPPVを 含む)管理	0	1	0	0	0	0	0	0	1	50%
	服薬管理	0	1	0	0	0	0	0	0	1	50%
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	回答事業所数	0	1	1	0	0	0	0	0	2	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
事業所数合計	0	1	1	0	0	0	1	0	3		



問9	提供可能な医療的ケア	「カテーテル、ポート」は無いがその他のケアは50%可能である。
----	------------	---------------------------------

問10. 利用している医療的ケアが必要な方の年齢層別利用者数(複数回答)

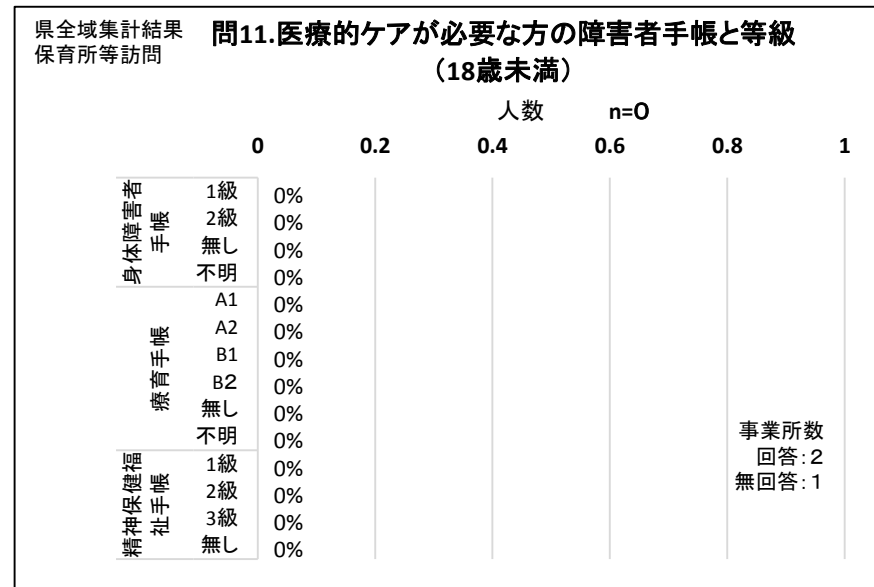
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
1～6歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
7～17歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
18～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
40～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
回答事業所数	0	1	1	0	0	0	0	0	2	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
事業所数合計	0	1	1	0	0	0	1	0	3	



問10	医療的ケアを受けている年齢層	該当者なし。
-----	----------------	--------

問11. 医療的ケアが必要な方の障害者手帳と等級(18歳未満)

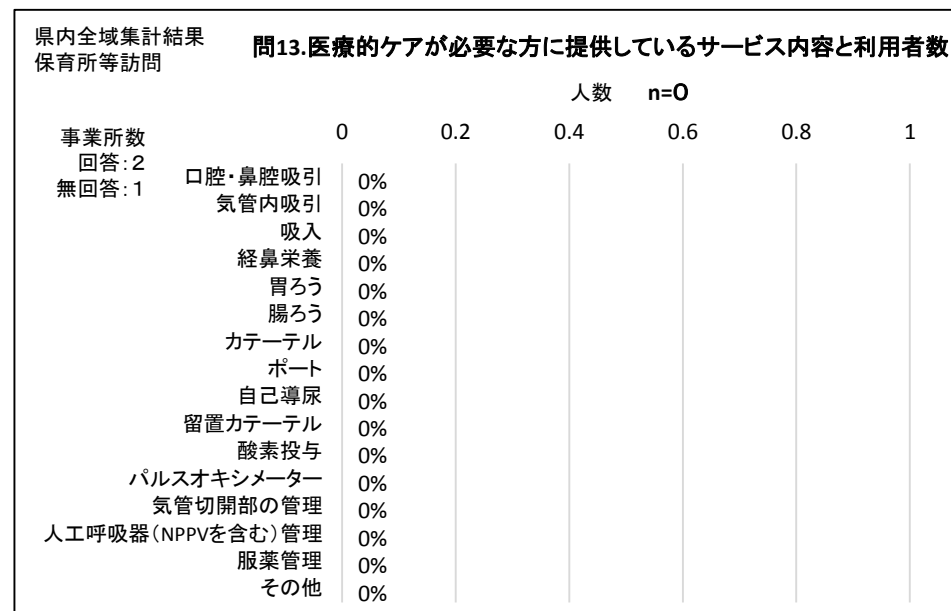
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
身体障害者 手帳	1級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	2級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	無し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
療育手帳	A1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	A2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	B1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	B2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	無し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
精神保健福 祉手帳	1級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	2級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	3級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	無し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	回答事業所数	0	1	1	0	0	0	0	0	2	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
事業所数合計	0	1	1	0	0	0	1	0	3		



問11	障害者手帳と等級	該当者無し。
-----	----------	--------

問13. 医療的ケアが必要な方に提供しているサービス内容と利用者数(複数回答)

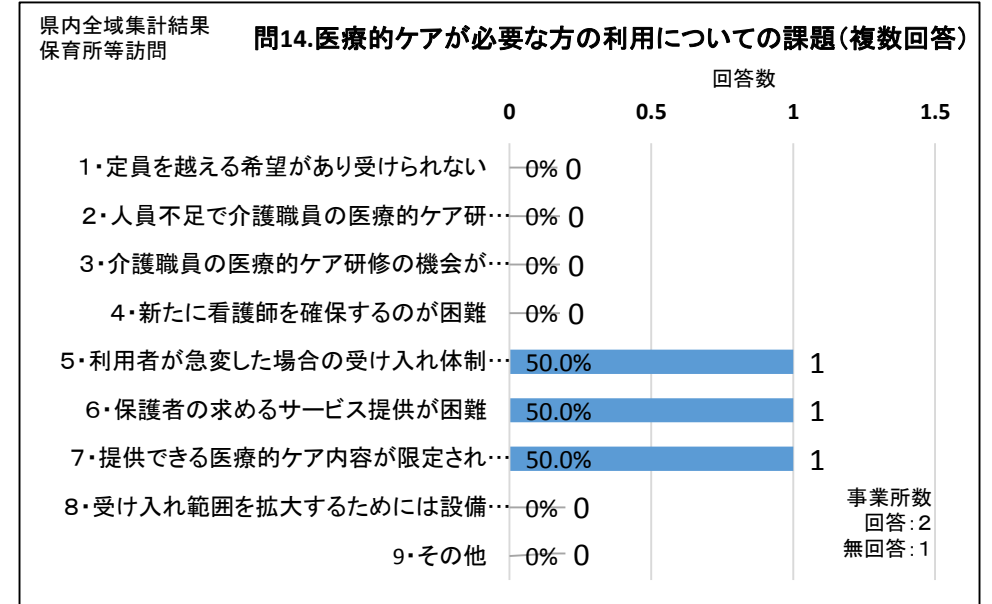
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
吸引	口腔・鼻腔吸引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	気管内吸引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
吸入	吸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
経管栄養	経鼻栄養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	胃ろう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	腸ろう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
中心静脈 栄養	カテーテル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	ポート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
導尿	自己導尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	留置カテーテル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	酸素投与	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	パルスオキシメーター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	気管切開部の管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	人工呼吸器(NPPVを 含む)管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	服薬管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	回答事業所数	0	1	1	0	0	0	0	0	2	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
事業所数合計	0	1	1	0	0	0	1	0	3		



問13	提供している医療的ケア	該当者なし。
-----	-------------	--------

問14. 医療的ケアが必要な方の利用について課題となっている内容(複数回答)

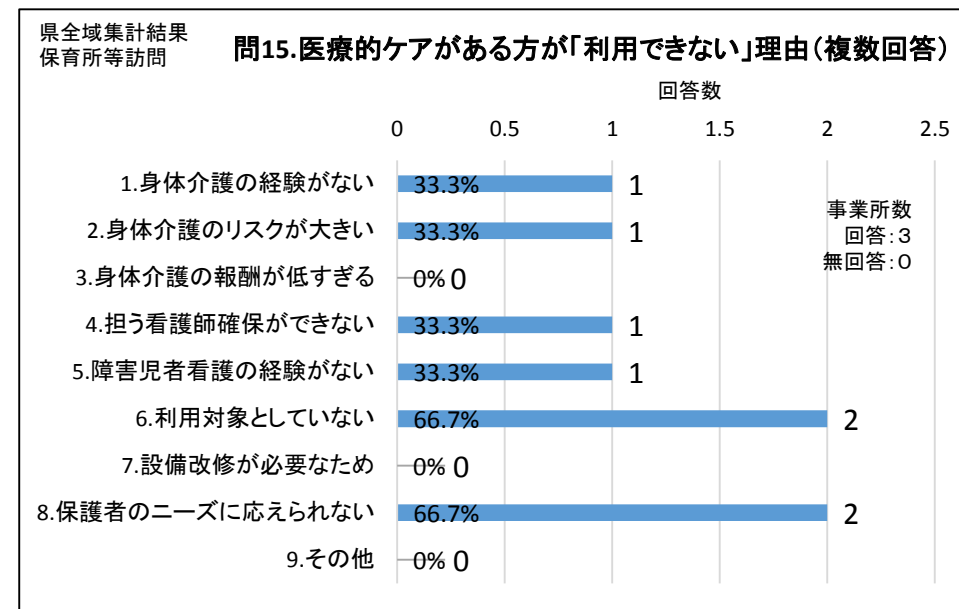
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1. 定員を越える希望があり受けられない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
2. 介護職員の医療的ケア研修を受けさせたいが人員不足で研修に出せない。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
3. 介護職員の医療的ケア研修の機会が少ない(また制限がある)ため資格人員が増えない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
4. 現に配置している看護師に多大の負担がかかっているが、新たに看護師を確保するのが困難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
5. 利用者が急変した場合の受け入れてくれる地域医療機関が少なく何かあった場合のことが不安	0	1	0	0	0	0	0	0	1	50.0%
6. 保護者の求める水準どおりサービス提供が困難	0	1	0	0	0	0	0	0	1	50.0%
7. 提供できる医療的ケア内容が限定されているため利用申し込みに対応できない場合がある	0	0	0	0	0	0	1	0	1	50.0%
8. 受け入れ範囲を拡大するためには設備改修が必要となるが、資金がない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
9.その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
回答事業所数	0	1	0	0	0	0	1	0	2	
無回答事業所数	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
事業所数合計	0	1	1	0	0	0	1	0	3	



問14	医療的ケアが必要な方の利用についての課題	「急変時の対応」と「保護者のニーズに応じられない」、「提供できるケアの内容が限定されている」が各50%。
-----	----------------------	--

問15. 医療的ケアが必要な方がサービス提供を「利用できない」理由(複数回答)

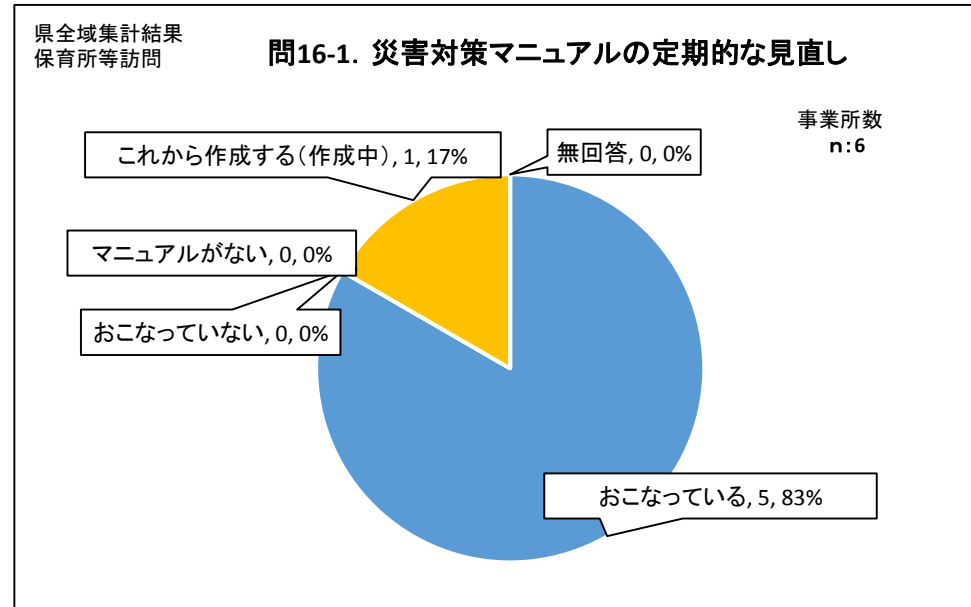
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1. 医療的ケアが必要な障害児者の身体介護の経験がないため	0	0	0	0	0	1	0	0	1	33.3%
2. 医療的ケアが必要な障害児者の身体介護は大きなリスクが伴うため	0	0	0	0	0	1	0	0	1	33.3%
3. 医療的ケアが必要な障害児者の身体介護の報酬が低すぎるため	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
4. 医療的ケアを担う看護師の確保ができないため	0	0	0	0	0	1	0	0	1	33.3%
5. 医療的ケアが必要な障害児者の看護の経験がないため	0	0	0	0	0	1	0	0	1	33.3%
6. 事業所として医療的ケアが必要な障害児者を利用対象としていないため	0	1	0	0	0	0	0	1	2	66.7%
7. 医療的ケアを実施するために設備改修が必要なため	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
8. 保護者が求める看護(介護)ニーズに応えられないため	0	1	0	0	0	1	0	0	2	66.7%
9. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
回答事業所数	0	1	0	0	0	1	0	1	3	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	0	1	0	0	0	1	0	1	3	



問15	医療的ケアが必要な方が利用できない理由	「事業所として対象としていない」と「保護者のニーズに応えられない」が66.7%。「障害者の身体介護の経験が無い」「リスクが高い」「看護師確保が困難」「看護の経験がない」がそれぞれ33.3%。
-----	---------------------	---

問16-①.事業所の災害対策マニュアルの定期的な見直しについて

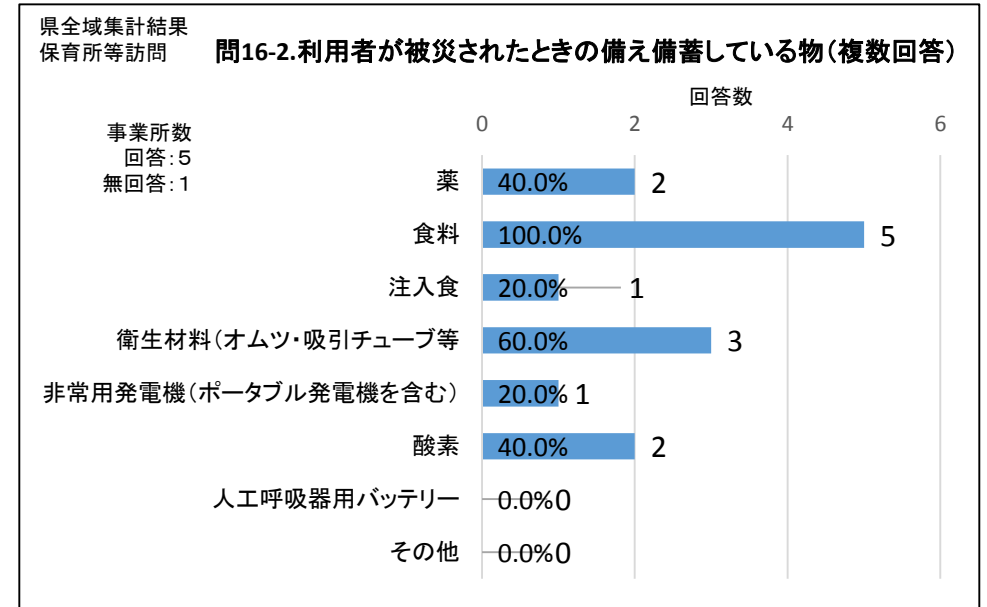
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
おこなっている	0	1	1	0	0	1	1	1	5	83.3%
おこなっていない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
マニュアルがない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
これから作成する (作成中)	0	1	0	0	0	0	0	0	1	16.7%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
事業所数合計	0	2	1	0	0	1	1	1	6	100.0%



問16-①	災害対策マニュアルの定期的な見直し	「行っている」83%、「これから作成する」が17%。「行っていない」ところは無かった。
-------	-------------------	---

問16-②.利用者が被災されたときに備え、備蓄している物(複数回答)

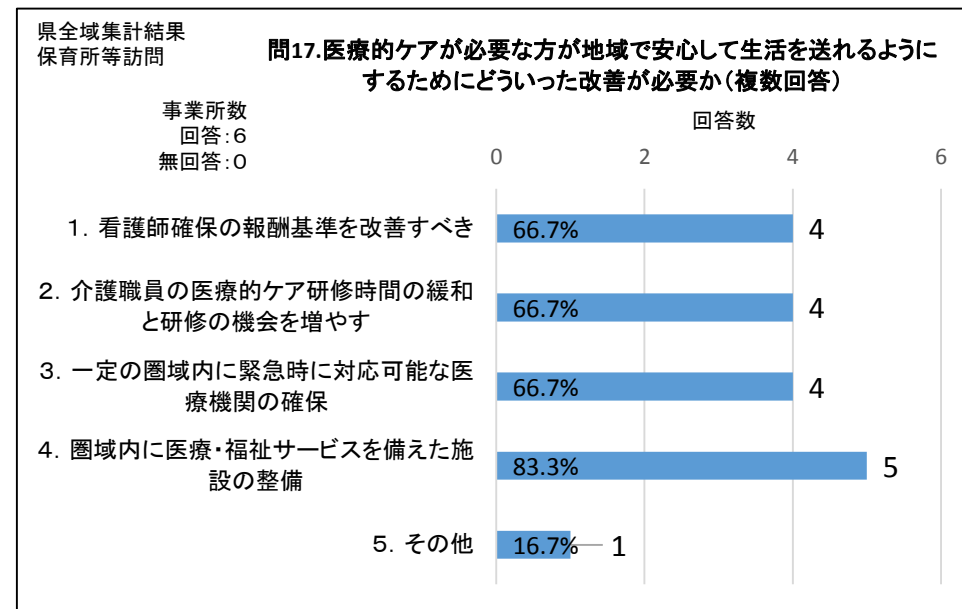
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
薬	0	1	0	0	0	0	0	1	2	40.0%
食料	0	2	1	0	0	1	0	1	5	100.0%
注入食	0	1	0	0	0	0	0	0	1	20.0%
衛生材料(オムツ・吸引 チューブ等)	0	1	1	0	0	1	0	0	3	60.0%
非常用発電機(ポータブル 発電機を含む)	0	1	0	0	0	0	0	0	1	20.0%
酸素	0	1	1	0	0	0	0	0	2	40.0%
人工呼吸器用バッテリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
回答事業所数	0	2	1	0	0	1	0	1	5	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
事業所数合計	0	2	1	0	0	1	1	1	6	



問16-②	被災時用の備蓄品	「食料」が一番多く、「薬」、「衛生材料」、「酸素」、「非常用発電機」が備蓄されている。
-------	----------	---

問17. 医療的ケアが必要な障害児者の方々が地域で安心して生活を送れるようにするためにどういった点を改善する必要があると思いますか(複数回答)

	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域合計	%
1. 医療的ケアに従事する看護師を安定的に確保できるよう報酬基準等を改善すべき	0	2	0	0	0	1	1	0	4	66.7%
2. 医療的ケアができる介護職員が増えるよう、介護職員の医療的ケア研修の研修時間の緩和、研修機会を増やすべき	0	2	1	0	0	1	0	0	4	66.7%
3. 一定の圏域内に緊急時に対応可能な地域医療機関を確保すべき	0	2	0	0	0	1	0	1	4	66.7%
4. 圏域内に医療・訪問看護・通園事業・居宅介護・短期入所・移動支援・相談支援等機能を備えた施設の整備をすべき	0	2	1	0	0	1	0	1	5	83.3%
5. その他	0	0	1	0	0	0	0	0	1	16.7%
回答事業所数	0	2	1	0	0	1	1	1	6	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	0	2	1	0	0	1	1	1	6	



問17	医療的ケアが必要な障害児者が安心して生活する為の改善点	「圏域内に医療福祉を備えた施設の設備」が83.3%、「看護師確保の報酬基準の改善」、「介護職員の医療的ケア研修時間の緩和」、「緊急時の対応可能な医療機関の確保」が66.7%。
-----	-----------------------------	---

傾向と評価	運営主体は、社会福祉法人のみ。医療的ケアのサービス提供の可否は、可能と不可能が半々。提供可能な医療的ケアは中心静脈栄養以外は可能。医療的ケアの必要な方の利用についての課題は、急変時の受け入れ体制、保護者のニーズに応えられない等である。災害対策については83%が行っている。安心して地域で生活するための改善点については、「医療・福祉を備えた施設の整備」が83%と高値である。
-------	--